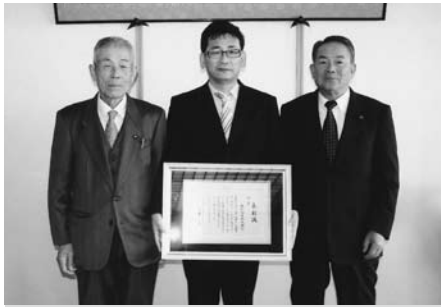


日野町土地改良区が 全国で金章受章



▲左から竹村眞次副理事長、藤澤直広理事長、外池嘉瑞雄副理事長

このたび、日野町土地改良区が、第51回全国土地改良功労者表彰で金章を受章されました。この章は、長年組合員の団結による農業用施設の管理運営などが優秀と認められ贈られるものです。

日野町土地改良区では、平成21年度、農地有効利用支援整備事業にも取り組まれ、農業生産基盤の整備に努められています。

祝100歳

おめでとうございます

橋田 喜一郎 さん(松尾2区)



▶橋田さん(前列右から2番目)とお祝いに駆けつけられた皆さん

4月7日、松尾2区にお住まいの橋田喜一郎さんが100歳の誕生日をお迎えになりました。当日、町長はじめ関係者がお祝いに伺い、元氣にお出迎えくださいました。

明治43年生まれ、橋田さんは、昭和24年から38年まで日野町議会議員・議長を務められました。また、昭和40年から48年までは日野町長を務められるなど、日野町行政にご尽力いただきました。

町長をされていたときに一番思い出に残っていることは、当時3校あった中学校を、昭和46年に日野中学校として統合したことだったとお話してくださいました。

100歳、おめでとうございます。お体を大切に、いつまでもお元気でいてください。

綿向雑感

日野町長 藤澤 直広

春風にゆれる満開の桜、4月7日、名誉町民橋田喜一郎さん(元町長)の100歳の誕生日のお祝いに寄せいただきました。橋田さんは、大変お元気で旧日野中

学校の統合や校舎建築などを振り返りお話しいただきました。皇寿(111歳)をめざし元氣でお暮らしいただきたいと思えます。

橋田さんは戦時中、南太平洋ニューブリテン島「ラバウル航空隊」で有名な旧日本軍のラバウル基地におられました。

ところで、NHKの連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」の主人公は「ゲゲゲの鬼太郎」で有名な漫画家の水木しげるさんの妻ですが、その水木さんもラバウルにおられ、そこで片腕を失くされました。また、水木さんの分隊が全滅し自分だけ生き残ったとき、上官から「何故、お前は生きているのか」と責められたといいます。生きることよりも死ぬことを求める軍隊を体験し、戦争の非道さや悲惨さをマンガでも伝

えておられます。

戦争の悲惨さといえば、沖縄の歴史があります。本土決戦の「捨石」となり沖縄県民の4人に1人が犠牲になりました。アメリカ軍に占領され、昭和47年5月15日の日本復帰までアメリカの施政権下におかれました。そして今も広大な米軍基地が存在しています。普天間基地は都市のド真ん中にあり、危険と轟音を撒き散らしています。米軍基地は、銃剣とブルドーザーによって強制的に接収され造成されたものです。政府は、沖縄県内や周辺の島への移設を検討していますが、今年1月の名護市長選挙で新たな基地は認めない市長が誕生し、沖縄県民全体も基地の県内移設反対の世論が燃え上がっています。

今、沖縄返還や核兵器の持ち込みについて国民を欺いてアメリカと結んだ密約が注目されています。国民が「政権交代」に求めたのは沖縄の米軍基地撤去であり、密約の解明であり、「抑止力」という呪縛からの解放ではなかったのか。今こそ平和憲法の理念に基づき国際平和への道をしっかりと歩む日本を目指す必要があると思います。